

第48回

相模ささら踊り大会

令和8年7月8日(水)

時間 13時開場、13時30分開演
入場無料

会場 IIMURO GLASS

綾瀬市民スポーツセンター
(綾瀬市深谷上 3-6-1)

【出演団体】(出演順)

葛原芸能保存会(藤沢市)
愛甲ささら踊り盆唄保存会(厚木市)
足柄ささら踊保存会(南足柄市)
〔特別出演〕 深谷保育園
長谷ささら踊り盆唄保存会(厚木市)
海老名ささら踊り保存会(海老名市)
秦野ささら踊り保存会(秦野市)
綾瀬ささら踊り保存会(綾瀬市)

主催 相模ささら踊連合会・綾瀬市

共催 神奈川県民俗芸能保存協会

後援 神奈川県教育委員会

協力 綾瀬市民俗芸能保存協会

綾瀬市史跡ガイドボランティアの会

協賛 サントリープロダクツ株式会社神奈川綾瀬工場

【問合せ】 綾瀬市生涯学習課 電話 0467-70-5637 FAX 0467-70-5703

ささら踊り

旧相模国内には、ピンササラと小太鼓を打ち鳴らす、盆踊り・盆唄と称する女性だけの踊りが広く分布していました。江戸時代に流行した小町踊り・七夕踊りに由来するもので、現在では「ささら踊り」、「ささら盆踊り」と名付けられています。しかし、盆踊り禁止令や関東大震災の影響を受けて大正時代に一度途絶えました。

昭和29年（1954）に、現在の南足柄市域の婦人会有志により「足柄ささら踊」が復活し、昭和42年（1967）に県指定の文化財、昭和50年（1975）に文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択されました。その後、県内の5市7地区でも復活され、保存会が結成されました。昭和51年（1976）にこれら保存会が集まり「相模ささら踊連合会」が結成されました。以来、「相模ささら踊り大会」が開催されるようになり、今年で48回目を迎えます。

平成20年（2008）には、「足柄ささら踊」とあわせて旧武蔵国との関わりや旧相模国地域におけるお盆の芸能の伝播の実態を探り、各地域の特色を知る上で貴重な資料であるとして「相模ささら踊り」の名称で神奈川県が無形民俗文化財に指定されました。

歌詞は七七調を基調とする長詞型と七七七五調の短詞型があり、長詞型には中世の風流を彷彿とさせる表現がみられ、曲節の基調に一致したリズムが認められます。

舞踊は揃いの浴衣に帯を締めたたすき掛けの女性だけが参加するもので、ピンササラをならし、小太鼓を打つという他の盆踊りとは異なった特徴があります。また、2本の扇を持つ扇踊り、時流の踊りを取り入れた手拭踊り、さらには、浴衣の長い袂を翻す「袂踊り」や「蝶々とんぼ」・「おっちょこちょいのちょい」という明治期の少女の童技を取り入れた踊りもあります。

神奈川県教育委員会1982

『神奈川県民俗芸能誌・民謡編』から引用・改編



小太鼓と
ピンササラ



会場へのアクセス

会場：IIMURO GLASS

綾瀬市民スポーツセンター 大体育室
（綾瀬市深谷上 3-6-1）

バス：相鉄バス

釜田観音橋経由綾瀬市役所行き
「海老名駅」～「市民スポーツセンター」
下車徒歩1分

車：東名高速道路綾瀬スマートICから3分
駐車場あり

